

熊楠ワークス

第9回南方熊楠賞に加藤九祚氏

ユーラシアの歴史民族学研究で業績



加藤九祚氏

和歌山県田辺市と南方熊楠邸保存顕彰会は、第九回南方熊楠賞（人文の部）に元国立民族学博物館教授で、ユーラシアの民族学研究に大きな業績があった加藤九祚（きゆうそ）氏（76）に東京都武蔵野市吉祥寺東町二ノ四〇ノ二〇〇IIを選びました。授賞式と記念講演は四月十七日午後一時半から、同市内のホテルで行います。

加藤氏は学生時代に学徒動員で出征、敗戦後シベリアで五年間にわたる抑留生活を送り、このときにロシア語を独習しました。帰国後、上智大学を卒業して平凡社に入社。編集者として活躍するかたわら、ユーラシアの歴史民族学研究者として業績をあげ、「シベリアの歴史」「シルクロードの十字路」などの著書や数多くの訳書を刊行しました。

十八年間勤務した平凡社を退社後、上智短期大学助教授を経て、国立民族学博物館教授（一

発行所
 南方熊楠邸保存顕彰会
 和歌山県田辺市湊1619-8
 田辺市民総合センター3階
 田辺市教育委員会文化振興課内
 TEL.0739(22)5300(代表)

CONTENTS

- 1 面 第9回南方賞決定
- 2 面 4期にわたり南方ゼミナール
- 3 面 南方ゼミ関連イベント
- 4 面 南紀熊野体験博を開催
- 5 面 普段着の南方熊楠⑩
- 6 面 熊楠ゆかりの地⑨
- 7 面 ひき岩群のいきものたち
- 8 面 熊楠研究1号刊行

旧ソ連領時代のシベリアや中央アジアでの現地調査はきわめて困難でしたが、加藤氏は旧ソ連に広い人脈をもち、ユーラシア内陸部をくまなく調査旅行して、先駆者として

の役割を果たし、後進の研究者たちに道を開いてきました。これらの功績により、ロシア科学アカデミーの名誉歴史学、ウズベキスタン共和国文化省芸術研究所名誉博士の称号を授与されました。また、昭和五十一年に第三回大沸次郎賞、平成六年に大同生命地域研究賞を受賞しています。

九七五―一九八六年）となり、その後、創価大学教授などで研究・教育に従事。現在も中央アジアの仏跡の発掘調査をしています。

代表的な著書は、大阪大学へ提出した博士論文で、後に刊行された「北東アジア民族学史の研究」です。同書は、江戸時代の漂流者たちや閩宮林蔵などのシベリア民族に関する記録を、ロシアや欧米の文献とあわせることによって、歴史民族学の新しい分野を開拓した研究であると高く評価されています。

加藤氏はアカデミズムに所属しない在野の研究者として出発し、ユーラシア内陸部全域にわたるフィールド・ワークを行い、古今東西の文献資料を集めて研究をまとめてきました。その「比較の視点」や「知的探究心」、研究の姿勢は、在野にありながら終生研究に打ち込んだ南方熊楠に通じるものがあります。

◆加藤氏のコメント◆

私の生涯でこの上ない光栄です。私は自分を天才南方先生と比べる気持ちなど毛頭ありませんが、強いて共通点を探せば「独学

授賞式と記念パーティー

南方熊楠邸保存顕彰会は、第九回南方熊楠賞授賞式・記念講演と、受賞記念パーティーの出席者を募集しています。会場はいろいろも、田辺市文里（もり）一丁目のガーデンホテル・ハナヨです。

授賞式は同日午後一時半から行います。引き続き、加藤九祚氏の講演「中央アジア仏塔（ストウパ）の起源とその変容」があります。定員三百人。受賞記念パーティーは午後四時からで、定員五十人、会費は二千円となっています。参加の申し込み、問い合わせは次の通りです。

〒646-0031
 和歌山県田辺市湊一六一九―八
 田辺市教育委員会文化振興課
 内、南方熊楠邸保存顕彰会事務局
 （電話0739・26・9943番）